### EXERCISE:練習問題



1. i+=5

サンプルファイルはこちら exercise01▶ exercise01.html

カウンタ変数iを5ずつ増やす式を入力します。「i=i+5」でも正解です。

## $A_2$

### 下記のリストを参照

サンプルファイルはこちら exercise02 exercise02.html

9行目で作成している変数valueに初期値を代入していないのが問題です。 何も代入していない変数には「undefined」が記憶されています。これに対して数値計算をすると、正しく計算できないために結果は「NaN」になってしまいます。変数valueに0を代入すると、正しい結果が求められます。

### リスト1 exercise02.html

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.</pre>
dtd">
<html>
<head>
        <meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=UTF-8">
        <title>10日で覚えるJavaScript</title>
</head>
<body>
       <script type="text/javascript">
               var value = 0;
               for(var i=1; i<=100; i++){
                       value += i;
               document.write(value);
        </script>
</body>
</html>
```

# **A**3

### 下記のリストを参照



switch文にはbreak文が必要です。break文を入れないとすべての処理がまとめて実行されてしまいます。

### リスト1 exercise03.html

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.
dtd">
<html>
<head>
```

#### EXERCIZE

```
<meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=UTF-8">
       <title>10日で覚えるJavaScript</title>
</head>
<body>
       <script type="text/javascript">
               var value = 'r';
               switch(value) {
               case 'r':
                      document.write('赤です');
               case 'g':
                      document.write('緑です');
                      break;
               case 'b':
                      document.write('青です');
                      break;
       </script>
</body>
</html>
```



1. "basket"



getElementByldメソッドはID名を手がかりにHTML要素を選択するので、このサンプルでは「basket」というID名のテキストを指定します。



1. createElement 2. createElement 3. appendChild 4. appendChild



要素を作成するときはcreateElementメソッド、要素を追加するときはappendChildメソッドを利用します。



1. preventDefault 2. currentTarget



規定アクションを中止するにはpreventDefaultメソッドを使用します。また、イベントの対象となっているHTML要素はcurrentTargetプロパティで取得します。代わりにtargetプロパティを使用しても正解とします。